

# 校長室だより

週1回発行

令和2年12月11日(金) NO. 18

## 大雪

12月7日が大雪でした。大雪には雪が激しく降り始めるころという意味があります。陽はさらに短くなって寒さが増し、冬が深まっていきます。

大雪のころになると冷たい空気からなる大陸の高気圧が優勢となり、西高東低の冬型の気圧配置の日が多く現れるようになります。西高東低の冬型の気圧配置になると、日本付近の上空にも強い寒気が南下するようになり、日本海側の山沿いや平野部でも雪が降ったり、各地で池や川に氷が張ったりします。

約2週間後に冬至（一年で最も昼が短い日）になります。

学校では、12月8日(火)～12月11日(金)までを体力作り週間として一斉部活動として取り組んでいます。日が短くなる時期、効果的に部活動を実施し生徒の体力向上と精神力の向上を図っていきたいと考えています。

9月下旬の柴田郡中体連新人大会では、野球部優勝、男子バスケットボール部優勝、女子剣道部団体優勝、女子バドミントン部団体準優勝(県大会出場)、女子バレー部準優勝と健闘しました。その後の3地区大会や県大会でも活動時間を延長して取り組み各地区代表チームと接戦を繰り広げました。最近では、男子バスケットボール部が3地区大会優勝を果たし県大会に出場 BEST 8入りしました。また、文化面では第68回川開書道展で本校生徒が毎日新聞社賞を受賞し大きく取り上げられました。これまで各方面で槻木中学校が活躍しています。

冬期間、しっかりと体力を養い、体幹を

鍛え次なる飛躍に向けて力を蓄えてほしいと願っています。

## 学力向上に向けて

昨年(2019年)全国学テでは、全国平均正答率をすべての教科で大きく上回りました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で全国学テは実施されませんでした。

現在まで6月1日スタートとなった学習の遅れを取り戻すために取り組んでいるところです。学習習慣の確立、そして冬休みは、各教科でこれまでの学習の振り返りのための課題を出します。課題一覧表は学年から提示します。何とか臨時休業前の学力まで戻し更なる学力向上を図っていきたいと考えています。1月4日(月)1月5日(火)には、本校図書室において学習室を計画しています(町教育委員会主催)。学習室には、宮城教育大学の学生が常駐し疑問点に答えてくれます。参加申込は14日(月)までとなっています。積極的に参加してほしいと考え、声掛けをしております。

## 学校評価アンケート

ご協力ありがとうございました。保護者の皆様のご意見を真摯に受け止め生徒が誇れる学校を目指していきたく考えています。アンケート結果については、PTA 執行部会で情報を共有したりご意見を伺ったりし学校改善に役立ててまいります。また、学校評議員会でも情報を共有し、地域の皆様や有識者の方々からご意見を伺い地域に愛される学校づくりに取り組んで行く考えです。そして保護者の皆様とも情報を共有し手を取り合って生徒のためになる学校づくりに邁進してまいります。

## 大雪の頃の短歌

『赤き空 見る事の減る 乾く日々  
大雪迎え 風も冷えゆく』

この時季になると空気が澄んで来て真っ赤な夕焼け空も見る事が減ってきます。空気も乾ききって渡る風は冷たさを増してくる。